

第3回

『新・資産運用キホンのキ』

～ 自分を知って最適な運用を～



第3回の講座内容

目標: リスク許容度を知って運用するときの参考にすることができる!
3種類のNISAの仕組みが分かる!
自分が運用すべき金融商品分かり、組み合わせを考え始める!

- ① リスク許容度チェックをしてみよう!
- ② 資産運用の戦略とは!
- ③ 資産運用で買うべき金融商品とは!
- ④ 3つのNISAを押さえよう!

①自分のリスク許容度を知ろう！

- 運用、投資でのリスクとは収益(リターン)の(振れ幅)のことです。
- 収益(リターン)がマイナスに振れてしまった場合、どれくらいまでなら受け入れることができるかの度合いのこと。

家族構成も
関係しますね

リスク許容度が低い

小さい

高い

浅い

多い

安定志向

収入・資産額

年齢

投資経験

今後のライフイベント

性格

リスク許容度が高い

大きい

低い

豊富

少ない

リスク志向

①自分のリスク許容度を知ろう！

リスク許容度をチェック！

- [モーニングスター \[投資スタイル診断\]](#)
- [WealthNavi 無料診断](#)
- [フィデリティ リスク許容度診断](#)

あなたのリスク許容度は？

リスク許容度に合った運用が大事！

①自分のリスク許容度を知ろう！

●リスク許容度に合っていないとこうなる

- ・毎日の値動きが気になって仕事が手につかなくなる。
- ・マイナスや下落で夜も寝られなくなる。
- ・ちょっとした値下がりですぐに売ってしまう。

運用を長く継続
するためには、
まずは心の安定
が大事です♡

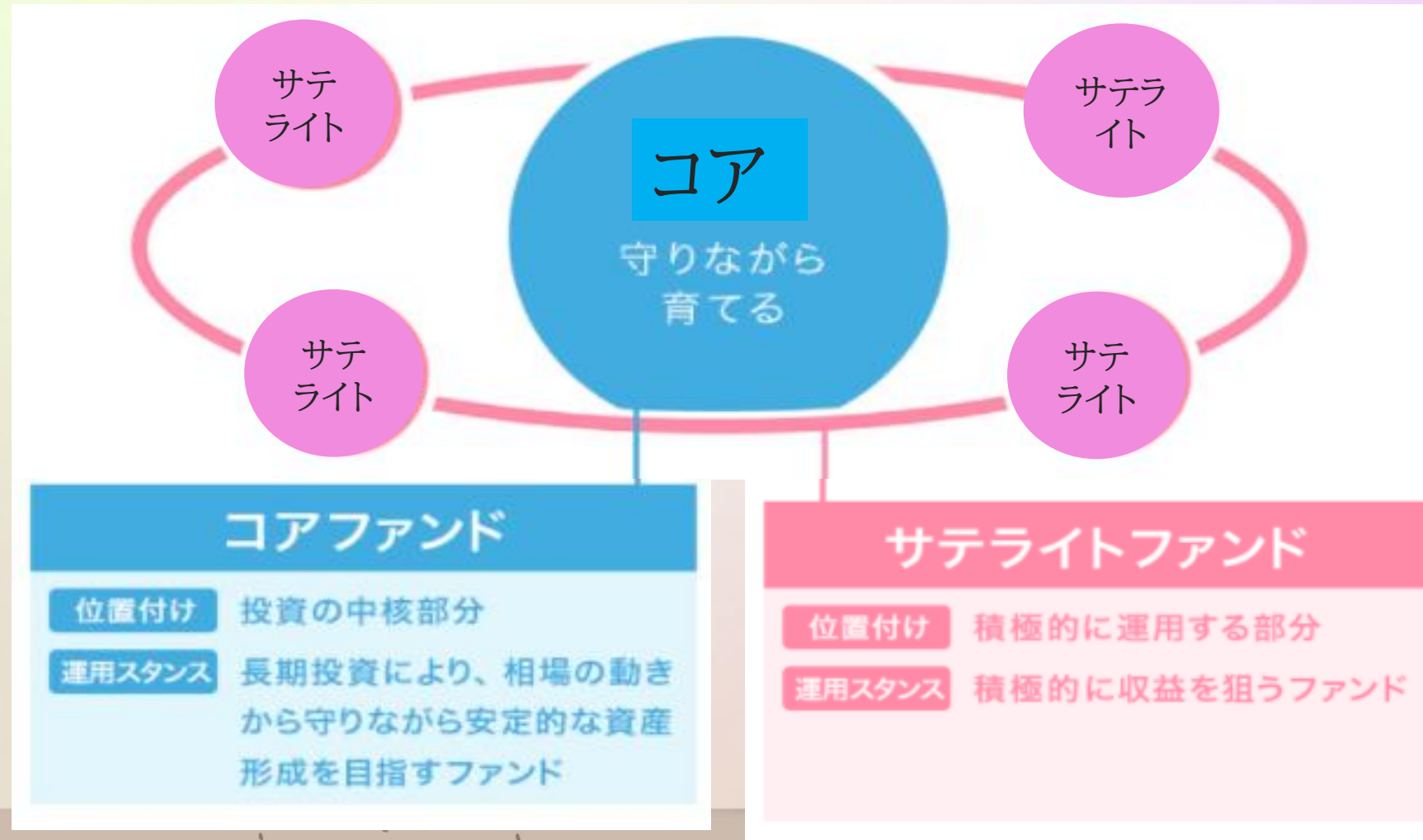


●そんな時には見直し！！

- ・資産運用に回す金額が多すぎないか！
- ・金融商品が適切か！
- ・資産運用の合言葉を忘れていないか！

②資産運用の戦略とは？

● (コア & サテライト戦略)



・サテライト部分から入ってしまう人が多い！！

・コアから作っていきこう！

ここで復習！ 資産運用の合言葉

Q.合言葉をチェック！！

- ・余裕資金
- ・長期運用
- ・分散投資
- ・積み立て
- ・複利運用



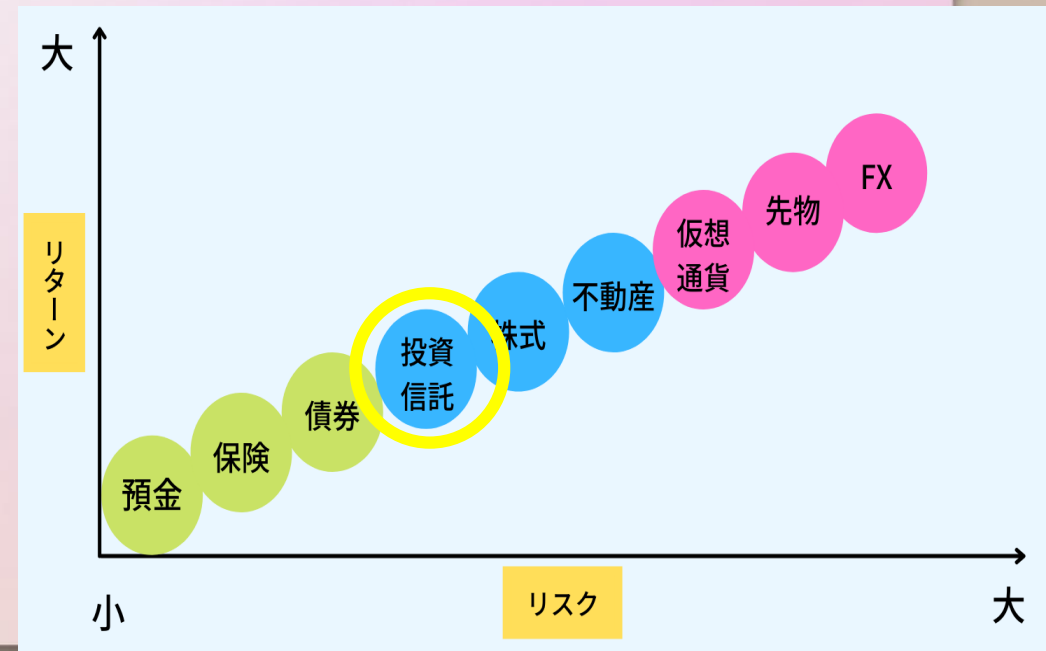
③資産運用で買うべき金融商品とは？

リスクが比較的押さえられる金融商品
(余裕資金) で、
(積み立て) られて、
(分散) できて、(長期 & 複利)
で運用できるもの

↓ と言ったら

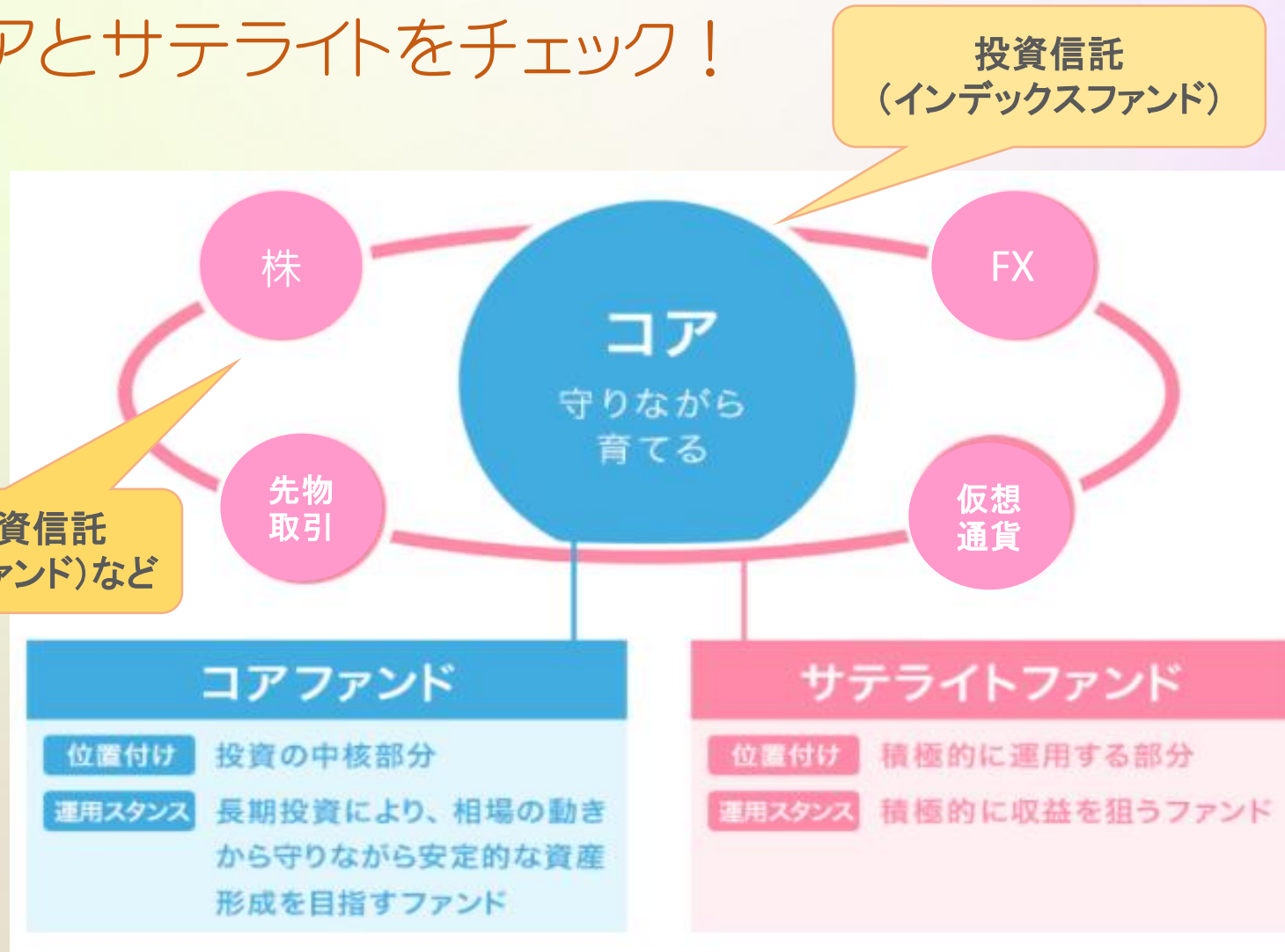
投資信託！！

iDeco
NISA
特定口座



③資産運用で買うべき金融商品とは？

コアとサテライトをチェック！

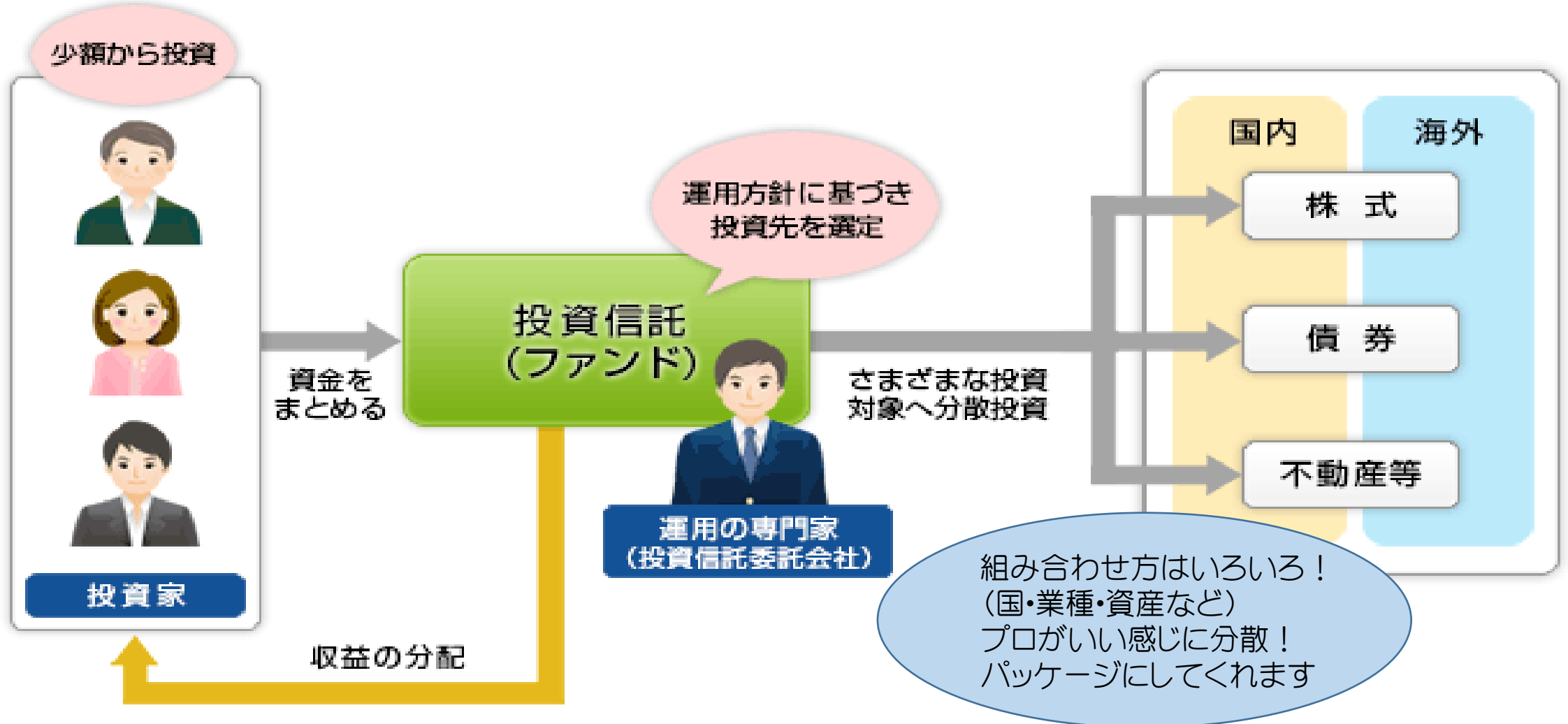


- ・**コア**が大事！
この講座では
コアを作ります
- ・**サテライト**は
遊びの部分
コアの0~20%
以内で運用。
(しなくてもいい)
- ・コアだけだと
つまらない...
そんな方向け！

投資信託ってなに？

③資産運用で買うべき金融商品とは？

★自分の「資産を投じて信じて託す」のが、投資信託です。



投資信託をお得に買うには？

Q: 投資信託はどこでかえる？

A: (銀行 郵便局 証券会社 ネット証券 など)

※取り扱っている
投資信託の
・数
・種類
・手数料 が違います！

一番のおすすめは

ネット証券会社の

iDeCo or NISA

運用益に税金か
かからないよ^^

運用益に税金がかからないとは？

③資産運用で買うべき金融商品とは？

一般口座、特定口座の場合

iDeCo/NISA口座の場合

資産運用をして10万円の利益を得た！



通常の運用だと
受け取れるのは

約8万円



つみたてNISAでの運用だと
受け取れるのは

10万円



2万315円(10万円×20.315%)
の税金がかかる



つみたてNISAなら
運用中の利益は非課税！

利益がまるまる手元に入る

まずは、コアはこれにきまり(^^)/

③資産運用で買うべき金融商品とは？

答え: NISA か iDeCo で
投資信託を買う！！

または、

NISA と iDeCo で
投資信託を買う！！

まだ運用
できそうなら、
特定口座で！！

※小規模企業共済、
国民年基金を
コアにしてもOK！
組み合わせてもOK！！



3つのNISAを押さえよう！

NISA(ニーサ)/少額投資非課税制度
Nippon Individual Savings Account

- 国が作った制度で3種類ある(一般NISA, 積立NISA, ジュニアNISA)
- 日本に住んでいる人なら誰でも始められる
- 投資の利益に税金がかからない
- 一般NISAと積立NISAはいつでも引き出せる
ジュニアNISAは2024年以降なら引き出せる
- 年金作りとしても、他の資金作りとしても使える
- 投資信託、株、ETFが買える

3つのNISAを押さえよう！

株、投資信託、ETFとは？

●株

- ・会社独自の株
- ・株を買う＝出資する＝会社の株主になる
- ・日本株、外国株がある。

ソニー、ANA、
APPLE など。

●投資信託

- ・株をファンドマネージャが複数寄せ集めて1つのパッケージにしたもの
- ・個人では買いにくい株にも投資できる
- ・少額でも買える

ニッセイ日経
225インデック
スファンドなど

●ETF

- ・証券取引所に上場されている投資信託のようなもの
- ・1株ずつ買う。購入単価は高いものがある。ドルコストは効かない
- ・手数料は投資信託より低い
- ・分配金が年3回～4回ある
毎月分配金がもらえるようにかうこともできる。(利回り2.5～4.5%)

VT, VTI,
QQQ, SPXL,
VOOなど

徹底比較!

運用期間は「つみたてNISA」、年間非課税枠は「NISA」に軍配

種類	積み立てに特化した新制度 つみたてNISA	投資の自由度が最も高い NISA	子どものお金を非課税で ジュニアNISA
対象年齢	20歳以上	20歳以上	0歳～19歳
最大期間	20年	5年	5年
ロールオーバー	不可	可	可
非課税枠 (年間)	40万円	120万円	80万円
非課税枠 (総額)	800万円	600万円	400万円
投資対象	条件に適合の 株式投資信託、ETF	国内・国外の上場株式、株式投資信託 <small>※上場株式はETF・リートを含む</small>	国内・国外の上場株式、株式投資信託 <small>※上場株式はETF・リートを含む</small>
投資方法	定期的・継続的な方法	制限なし	制限なし
出金	自由	自由	18歳まで非課税の引き出し不可*1
運用が始められる期間	18年1月～37年12月末	14年1月～23年12月末	16年4月～23年12月末*2
最後の運用が終了する日	56年12月末	27年12月末	27年12月末*3
特徴& こんな人に オススメ!	老後資金など長期の資産形成に 非課税期間は最長の20年、非課税総額も 800万円と最大だ。ただし1年上限額は 40万円とかなり少なめ。投資方法は積み 立てが原則。投資対象の商品は、一定条件 をクリアした株式投資信託やETFのみ。	自由に売買をしたい人はこれ 投資商品やタイミングの自由度が高く、自 分の裁量で売買がしたい人向け。年間の非 課税枠も120万円と最大。非課税期間は5 年だが、終了後に、次の非課税枠を使って、 さらに5年のロールオーバーが可能。	子どもに使うお金を作る制度 子どもの将来のお金を作るための口座。名 義は子ども本人だが、投資や管理は親権者 が代理で行なう*4。子どもが18歳になる まで非課税の引き出し不可*1。なお20歳 以降、通常NISAにロールオーバーが可能。

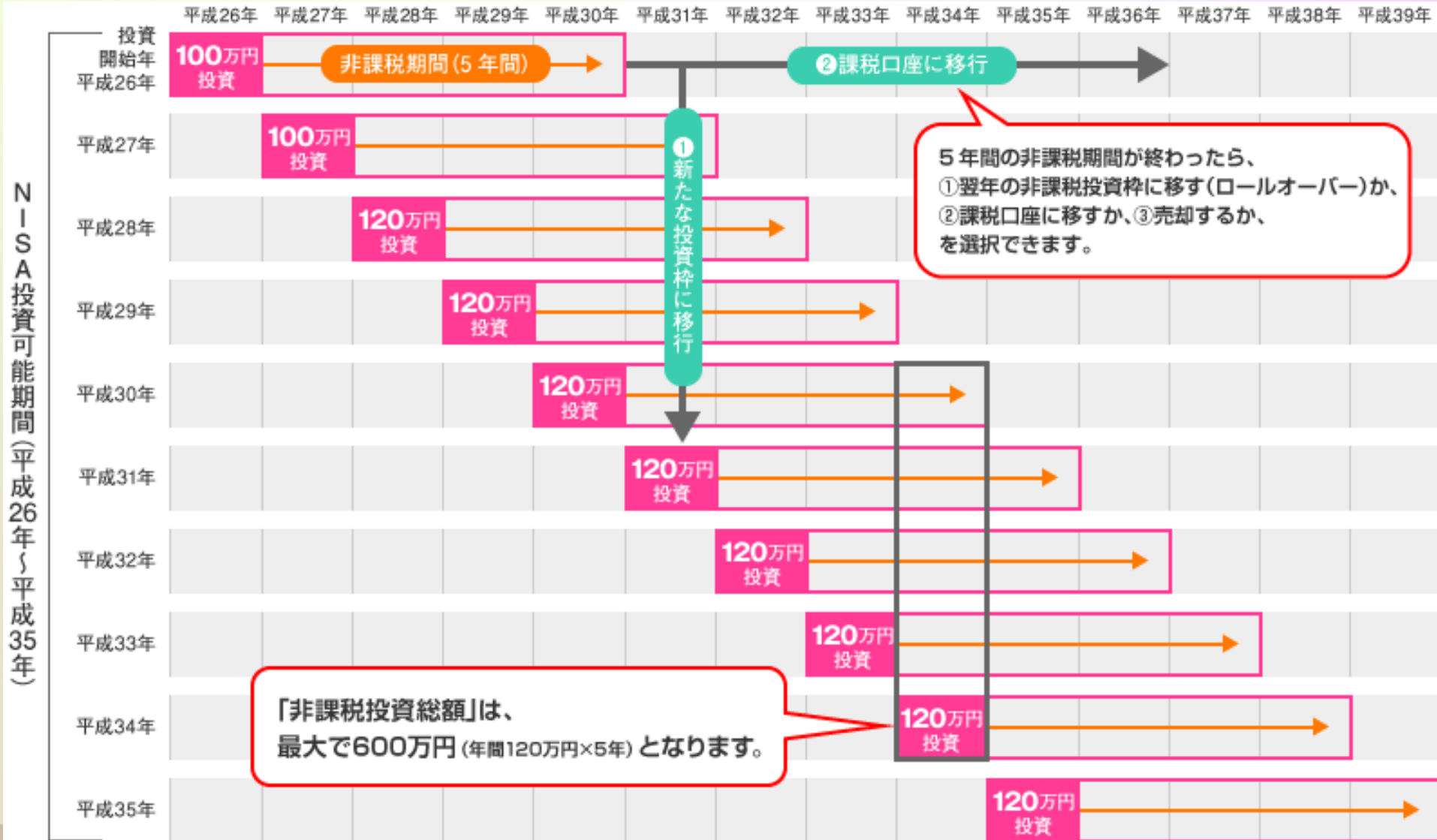
どちらかを選択

*1 3月末時点で18歳である年の前年の12月末まで。*2 24年以降も口座開設者が20歳に到達するまでは非課税保有を継続可能。*3 23年に0歳の子が20歳になる最終年度まで口座は維持可。

NISAとiDeCoの違い

種類	つみたてNISA	NISA	ジュニアNISA	iDeCo
対象年齢	20歳以上	20歳以上	0歳～19歳	20歳以上60歳未満
最大期間	20年	5年	5年	60歳まで（運用はさらに10年の延長が可能）
ロールオーバー	不可	可	可	—
非課税枠 （年間）	40万円	120万円	80万円	加入する人の職業などによって異なる（例：会社員14.4万円～27.6万円、公務員14.4万円、専業主婦・主夫27.6万円、自営業者81.6万円）
非課税枠 （総額）	800万円	600万円	400万円	加入する人の職業などによって異なる
節税メリット	運用で得た利益は非課税	運用で得た利益は非課税	運用で得た利益は非課税	運用で得た利益は非課税。掛金分は全額が所得控除に。受け取り時にも控除あり。
投資対象	一定の条件にあった株式投資信託、ETF	国内・国外の上場株式、株式投資信託（※上場株式はETF・リートを含む）	国内・国外の上場株式、株式投資信託（※上場株式はETF・リートを含む）	株式や債券、リート、金などに投資する投資信託、定期預金など
投資方法	定期的・継続的に積み立てる方法	制限なし	制限なし	毎月一定額を積み立てる方法
出金	自由	自由	18歳まで非課税の引き出し不可	60歳までできない（積立期間が短いと受け取り可能時期が遅くなり、最も遅くて65歳から）

一般NISA(現行)



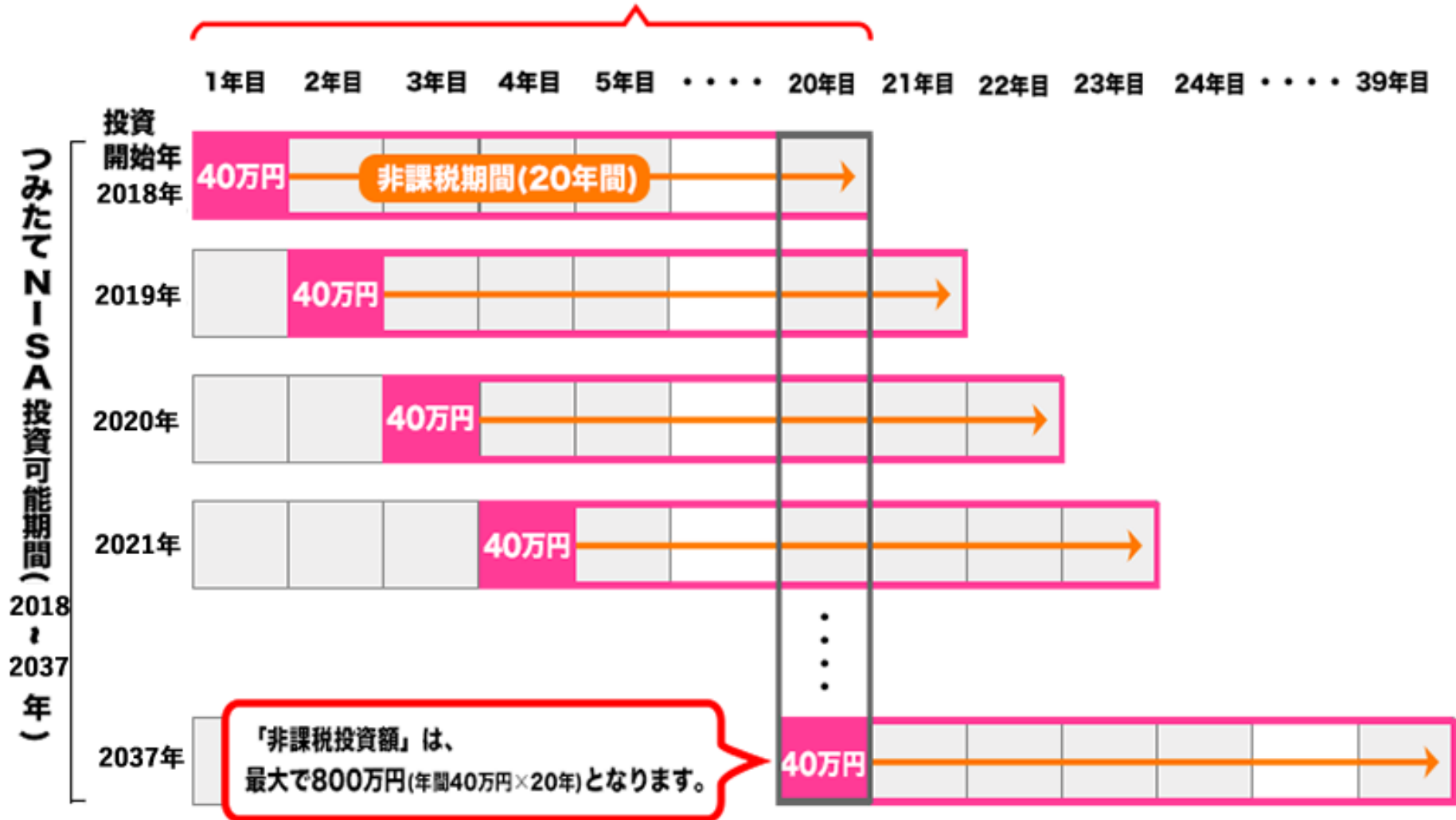
・2024年からは新NISAになる。

・スポット買い、積立でもOK

・途中で、積み立てNISAに変更できる。
(※5年のロールオーバーはなくなる)

積立NISA(ニーサ)

非課税期間は**20**年間



・積立設定をして後は放置でOK

・20年運用したら売却か、課税口座でさらに運用

・一般NISAを始めてもOK

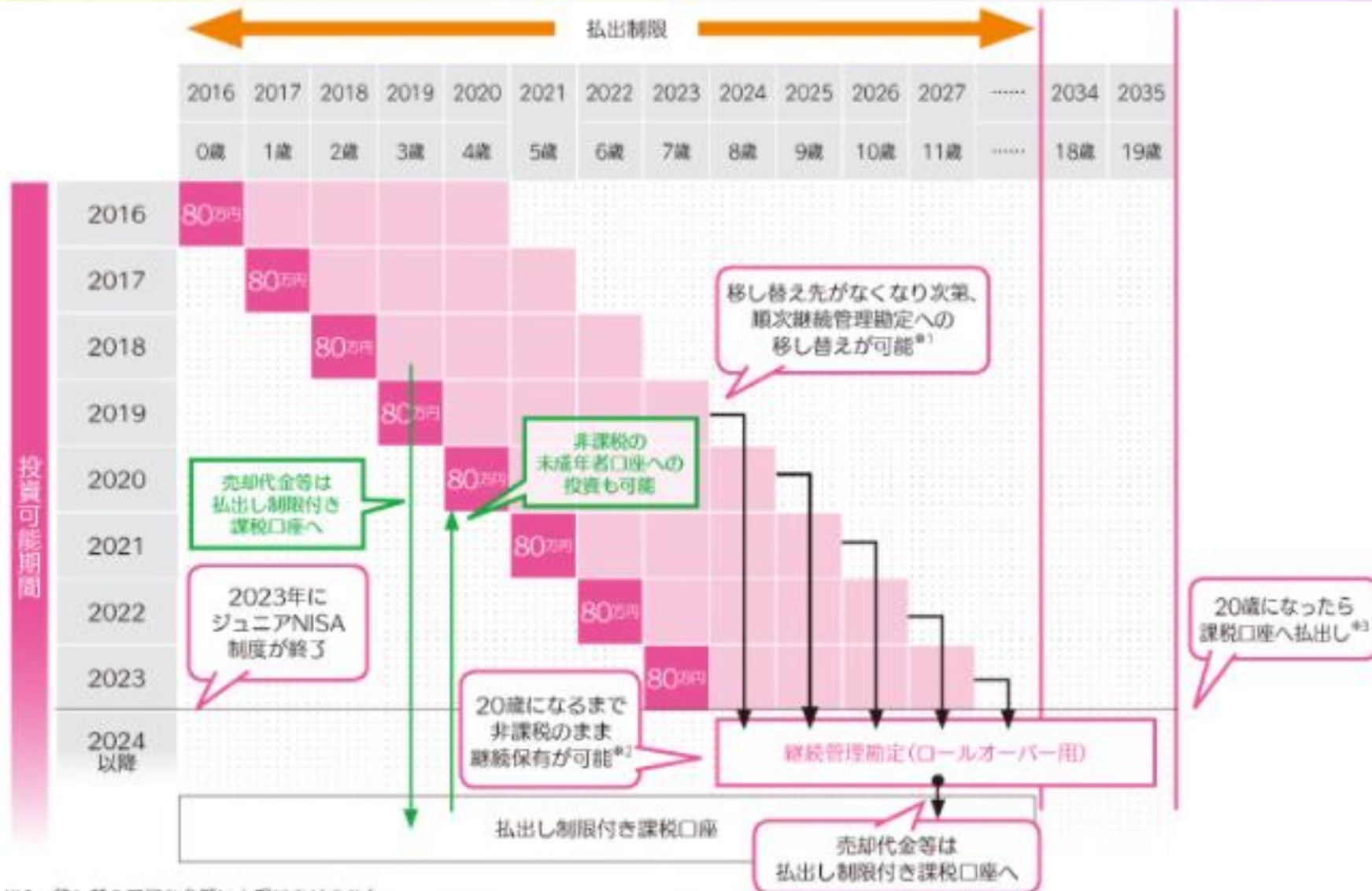
新NISA(ニーサ)

・現行のNISAが分かれば、新NISAも簡単です

Check!! 一般NISAは2024年から2階建ての「新NISA」に



ジュニアNISA



※1 移し替え可能な金額に上限はありません。

※2 継続管理勘定では、新規投資ができませんが、売却は可能です。 ※3 払出し時の時価が、新たな取得価格となります。

・2024年に制度が廃止

・廃止後はいつでも払出しOK.

ただし全額払い出しで、口座も解約になる。

・20歳まで非課税で運用し続けることも可能

・20歳以降は一般NISAへ

・特定口座に入れて、積立NISA

積立NISAの運用シュミレーションをしよう

●36歳、月33333円(年40万)を20年間、7%で運用。

①掛け金 (月 33,333 円) (年 400,000 円)

②積立総額 (8,000,000 円)

運用利益 (8,918,000 円)

合計金額 (16,918,000 円)

③積み立て時の節税額はなし

④運用時の節税額 (1,811,691 円)

←運用利益×20.315%



ほしい時に引き出せるのがいいね。
(全部でも、一部でもOK)
iDeCoにも同じ商品もあります！

積立NISAの運用シュミレーション

(満額で積み立てた場合)

※みらい電卓



毎月の積立金額

3.3333 万円



想定利回り (年率)

7 %



積立期間

20年 ▼

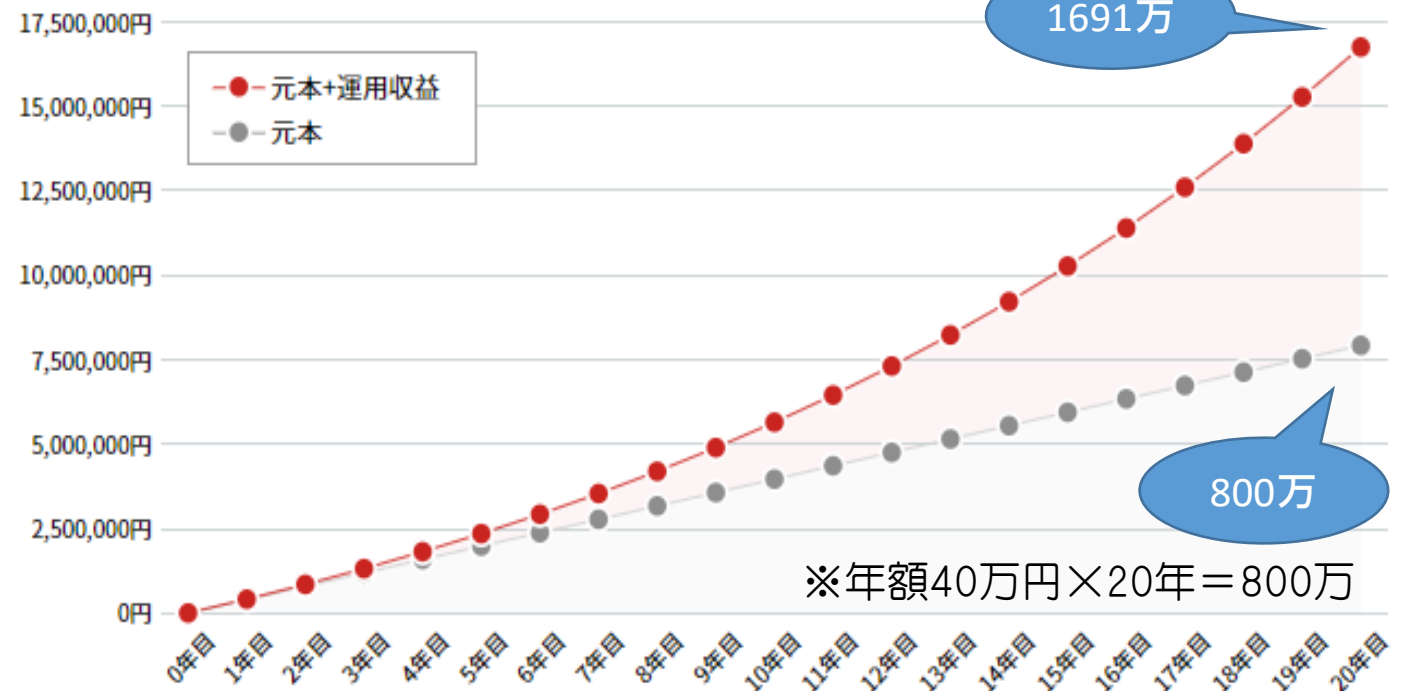


計算する

積立結果は**1,691.8万円**になります。

計算結果の詳細を閉じる

複利の効果で、後半グッと伸びてきますね^^



一般NISAの運用シュミレーションをしよう ※みらい電卓



- 月10万円(年120万)を5年間、その後ロールオーバーで5年間運用する。
7%で運用。

① 掛け金 (月 100000円) (年 1200000 円)

② 積立総額 (6000000 円)
最初の5年間で(1120000 円)、利益(7120,000 円)
ロールオーバーした5年間の金額 (9,986,000 円)

③ 積み立て時の節税額はなし

④ 運用時の節税額 (809,755 円)
↑ 運用利益×20.315%



その後、特定口座(源泉徴収あり)で10年間運用すると、
19,644,000円 (+9,658,000 円) (←税約196万)

・まとまったお金があるときは、一般NISAがおすすめ！

・10年後に、積み立てNISAを始めるのもあります！！非課税枠を最大限につかみましょう。

・増えたお金は、特定口座で、税金を払うことになっても引き続き運用しましょう。

ジュニアNISA シミュレーション

※みらい電卓、複利計算



- 現在6歳。年間80万、月66,666円を2年間7%で運用。
 - 8歳から19歳は、そのまま20歳までほったらかし運用する。
 - 20歳から60歳まで、特定口座で運用を続ける。

①掛け金 (月 66,666円) (年 800,000 円)

②積立総額 (1,600,000 円)

③2年間の運用益 (1,708,000 円)

④8歳～20歳まで、そのまま非課税で運用すると、(3,847,000 円)

⑤その後、特定口座で40年ほったらかしで運用すると、(57,625,515 円)

・元本の160万円が
約5760万円に！！

・20歳以降は、NISA
や積立NISAを始めて
もOK.

・お子さんの口座で
すが、自分の資産を
増やす枠として私は
使っています。

児童手当ここだけの話♡

- 児童手当だけで、高校生になるまでに1人（約 200 万）もらえます。

意外と知らない人が多い！
児童手当をジュニアNISAに
回すのもあります^^

児童の年齢	児童手当の額（一人あたりの月額）
3歳未満	一律 1万5,000円
3歳以上 小学校修了前	1万円 (第3子以降は1万5,000円)
中学生	一律 1万円

※出典：内閣府「児童手当制度のご案内」

今日のまとめ

- ・資産運用は、(NISA)と(iDeCo)の非課税枠を使うのが賢い！
- ・年金作り、住宅・教育資金などのまとまった資金のために(コア)にできる金融商品で長期運用する。
- ・コアにできる金融商品は(投資信託)がいい！
買ってもしいいものを選んで買います。(←いよいよ次回！)
- ・NISAは(流動性)が高い。iDeCoは資金が拘束される。
- ・自分の(リスク許容度)に合った資産運用が大事！

資金の流動性は
大きな決め手にな
りますね。



第3回の講座内容

目標: リスク許容度を知って運用するときの参考にすることができる!
3種類のNISAの仕組みが分かる!
自分が運用すべき金融商品分かり、組み合わせを考え始める!

- ・年金作りには、国民年金基金
付加年金
小規模企業共済
iDeCo
NISA
- ・他の資金作りには、NISA(家族のNISA枠をフル活用)
特定口座(源泉徴収ありがおすすめ)

資金の拘束、
自分の性格、
資産状況などで、
どの仕組みを使う
か、どう組み合わ
せるかを考えてみ
ましょう。

次回の予告

- 買ってもいい投資信託と
買ってはいけない投資信託
- 良い投資信託の見分け方(重要)
- 自分に合った資産運用術を決めよう！
- 投資信託の買い付け方

4回目はかなり実践的な
内容になります！
しっかりついて
きてくださいね♡



Thank you

受講された皆さんが
投資に一步踏み出せますように！

